

# SSL 4000 G Bus Compressor Collection

## すべてを新しく設計し直された究極のハイファイ・ミックスコンプレッション

Solid State Logic 4000シリーズは、世界でもっとも成功したスタジオプロダクション・コンソールであり、センターセクションには、マスターコンプレッサーを初めて搭載しました。デュアルVCAゲインリダクションとCVサミングにより、SSL Gは、発売後のクローンやその他の設計とは比較できないリッチなハイファイダイナミック・バスコントロールを提供します。

SSL Gは、ミックスのサウンドをより壮大に、よりパワー、パンチ、ドライブを与え、明快さを失うことなく一貫性と力強さをもたらします。それは今日現在まで、SSLサウンドの重要な要素であり、数えきれないほどのクラシックなレコーディングで使用されています。UAD-2とApollo用のG Series Bus Compressorプラグインは、シンプルで直観的なコントロール、そしてクリアなコンプレッションを備え、正確に象徴的なSSLサウンドをキャプチャーしています。

### 新機能:

- 象徴的なSSL G Compressorの世界最速のサーキットエミュレーションで、ステレオミックスやバスをエンハンス
- ミックス、バス、その他のソースにパワー、一体感、ドライブを付加
- プラグイン専用のミックス/ヘッドルーム・コントロールを使用してミックスワークフローを拡大
- プラグインのみの内蔵SCフィルターを使用して低域をパンチアップ
- TBD、TBD、TBD、TBDなどのアーティストプリセットを使用してミックス
- オリジナルのコンソールにあるオートフェード機能(1~60 sec)を使用可能

### 唯一のSSL Bus Compressorの包括的なエミュレーション

SSL G Bus Compressorプラグインを最適化するために再設計を行いました。6か月間にわたってUAのアルゴリズムサーキット・チームによる入念な調査が行われました。UAは、ハードウェアのすべての微妙なディテールを確実に再現するためにSSL G Bus Compressorのファンに注目し、忠実にキャプチャーされていることとともに彼らの好ましい拡張機能についてのフィードバックを得ました。同時に、ビンテージのインコンソールとFX G384ラックマウントのサンプルを分析、測定し、もっとも厳しいサウンドと動作のモデリングを行いました。

## Master Fader Finale

SSLは、アウトボードの2バス・ソリューションとして増え続けているコンソールのマスターフェーダーにミックスコンプレッションを組み込んだ最初のものであり、間違いなく最高のものでした。SSL Gは、シンプルさと効率を重視した結果、明確なデュアルVCAとCVサミング設計を採用しています。クリアなステレオプロセッサとして知られているSSL Gは、“害のない”という崇高な原則の下で優れています。

## オリジナルレシピ

使い慣れたおなじみのコントロールセットにはSSLの3種類の調整されたコンプレッションレシオ(2:1、4:1、10:1)があります。固定アタック、リリース・コントロールは、バス機能用のSSLボイスで、プログラムに依存するオートリリース機能を含んでいます。2バスでのサウンドのまとまりをほとんど気にせず、連続的なスレッショルドコントロールで完全にダイナミクスをコントロールすることができます。オリジナルのハードウェアに忠実で、A/B比較用のメイクアップゲインとトゥルーバイパスを追加しています。

## 大きなボトム、そしてブレンド

多くの需要によってオリジナルの機能セットにカスタムの拡張機能を加えました。SSLのベテランは、あまりにもボトムが多く、ベースパンプを起こすといいます...低域レスポンスを正確に調整する内蔵のサイドチェインフィルタリングを使用して独自のクリエイティブな効果を得てください。ミックスはインラインのドライ/ウェットにより平行処理を提供し、ヘッドルームはカスタムのオペレーションレベルを追加することができます。

## フェードトゥブラック

コンソールやお気に入りのSSLアウトボードでも見られるように、UAD SSL G Bus Compressorはオリジナルのオートフェード機能を備えており、最大60秒のSSLフェードを提供します。

## アーティストプリセット

SSL G Bus Compressorには有名なSSLユーザーによるアーティストプリセットが含まれています。内蔵のファクトリーバンクには、DAWアプリケーションのプリセットメニューからアクセス可能な32のアーティストプリセットが収録されています。追加のプリセットも含まれており、UADツールバー、またはApolloのconsole2ソフトウェアのプリセットマネージャーのセッティングメニューからアクセスすることができます。

Benno de Goeij	Ian Boxill	Patrick Carney
Chris Coady	John Paterno	Peter Mokran
Chuck Zwicky	Just Blaze	Richard Chycki

*SSL G Bus Compressorのプリセットを提供しているアーティスト*



SSL 4000 G Bus Compressor(左)とSSL 4000 G Bus Compressor Legacy(右)インターフェイス

# SSL G Series Bus Compressorファミリー

SSL G Series Bus Compressorコレクションは、SSL G Bus Compressor, and SSL G Bus Compressor Legacy という2つのUADプラグインで構成されています。

## 4000 G Bus Compressor

SSLのエンジニアや著名なSSLユーザーと連携して開発されたUAの第二世代SSL G Bus Compressorは、業界標準のSSL 4000 G console bus compressor(と、そのアウトボードパーツ)のもっとも本格的なエミュレーションです。

- オリジナルのSSL G Bus Compressor Legacyには含まれていない新しいSSL G Bus Compressorの機能は以下の通りです。:
- オリジナルのアナログハードウェアと比較してさらに優れた音質を実現するために全体的に改良されたアルゴリズム・サーキットモデル。
- SSLの回路図にアクセスし、デザインの洞察を得て、利用可能な最良のインスタンスをモデリング
- ヘビーな低域のミックスや、サブグループのコントロールを強化するための連続可変サイドチェインHPF(ハイパスフィルター)。
- パラレルプロセッシングのためのドライ/ウェット・ミックスコントロール
- カスタムのオペレーション・リファレンスレベルを設定するヘッドルームコントロール

## SSL G Bus Compressor Legacy

UAのオリジナルSSL G Bus Compressor Legacyプラグインは、SSLを愛するエンジニアの間ですぐにヒットし、当時、使用可能なベストのSSLバスコンプレッションのエミュレーションを提供しました。

SSL G Bus Compressor Legacyには、新しく改良されたサーキットモデルや、新しいSSL G Bus Compressorのその他の拡張機能は含まれていませんが、DSPの消費量が少なく、シンプルな機能セットは特にDSPが限られた環境で役立ちます。

## 4K Bus Compressor

4K Bus Compressorプラグインは、SSL G Bus Compressor Legacyに取って代わり、SSLから正式なエンドースを受け、機能と音質が向上しています。4K Bus Compressorは、過去のセッションとの互換性を保つためにUADソフトウェアに含まれています。

4K Bus Compressorは、SSL G Bus Compressor Legacy(4K Bus Compressorではオートフェードは使用できません)と同じコントロールを備えているため、4K Bus Compressorには独自のチャプターはありません。そのコントロールはこのチャプターで説明しています。

*注: 4K Bus Compressorは、SSL 4000 G Bus Compressor Collectionには含まれていません。*

## 操作について

このセクションでは、SSL G Bus Compressor の操作の概要を説明します。個々のコントロールの詳細については、この章後半の“コントロール”を参照してください。

### マスターバス・コンプレッサー

SSL G Bus Compressorは、2バスを念頭に設計されています。コントロールセットは、常に左右両方のチャンネルを同時に調整します。レシオ、アタック、リリースの設定もバス用に特別に設計されており、多種多様なソース素材に適したオプションを用意しています。アタックとリリースタイムは、コンプレッションの動作をテンポや曲のフィーリングに合わせて(ある程度)チューニングすることができ、オートセッティングは、プログラムに依存した多段階のリリースを提供し、最高の透明度を誇ります。

レシオが2:1の場合、もっとも自然なサウンド使用できます、激しいコンプレッションには10:1、適度なコンプレッションには、4:1を使用してください。通常、このプロセッサーは、最小限のゲインリダクションで使用することを意図しています。ほとんどのケースで1~2 dBの平均ゲインリダクションを行うスレッシュホールドに設定するのが一般的ですが、まれにトランジェントが平均値を超える場合があります。静かな演奏では、メーターの動きほとんど起こらないことがあります。メイクアップゲインを使用してエフェクトのオン/バイパス時のゲインが同じになるよう設定することができます。

SSL Gは、ドラムバスなどのグループにも適しています。この場合、よりアグレッシブなアプローチが適しており、より広いレンジでのゲインリダクションが可能となります。レシオが10:1の場合、ドラムグループにハードなサウンドを与えます。速いアタックとリリースは、コンプレッサーの可聴音を最大限に引き出します。

### コンプレッサーによるミキシング

一般的にSSL Gはミックスプロセスの当初から使用されており、エンジニアは、コンプレッサーの動作とミキシングサウンドを混同することがあります。このプラグインを試聴する理想的な方法は、ステレオ・マスターチャンネルのインサートにドロップして新しいミックスであるといえます。この場合、ゲインリダクションメーターに注意して時間を過ごすことになり、ミックスの進行度合いに合わせて設定を調整してください。もちろん、いつでも既存のミックスにドロップすることもできますが、その時にコンプレッションなしのサウンドに耳が慣れている場合、調整に時間が必要な場合があります。

### バリエブルニー・コンプレッション

スレッシュホールドコントロールで設定されたコンプレッサーの“ニー”ポイントは、レシオコントロールの設定に応じて意図的に変更されます。レシオの設定を小さくすると、有効なスレッシュホールドが下がり、コンプレッションされた信号の知覚ラウドネスが維持されます。

### ドミナント・サイドチェイン構造

SSL G Bus Compressorは、従来からの“ドミナント2サイドチェイン”設定を採用しています。左右の信号は独立して整流され、リアルタイムに比較され、より大きいチャンネルが全体のステレオ信号がゲインリダクションをコントロールします。

# SSL G Bus Compressorのコントロール

SSL G Bus CompressorとSSL G Bus Compressor Legacyのコントロールはほとんど同じです。2つのプラグイン間のコントロールの違いには注意が必要です。

## スレッショルド

スレッショルドはコンプレッションを始めるシグナルレベルを設定します。このレベルを上回るシグナルはコンプレッションがかかり、下回るシグナルはエフェクトの影響を受けません。コントロールレンジは±15dBです。

スレッショルドが低い値になり、より多くのコンプレッションが行われると、多くの場合出力が下がります。必要に応じてメイクアップコントロールを使用して出力音量を調節してください。

レシオコントロールは、シグナルの知覚ラウドネスを維持するためにコンプレッションスレッショルドと相互作用を行うことに注意してください。レシオが上がるにつれ、有効なスレッショルドは下がります。

*ヒント: SSL Bus Compressorでは、テキストラベル“0”をクリックするとスレッショルドを中央の位置に戻します。*

## メイクアップ

メイクアップは、プラグインから信号を出力するレベル(ポストコンプレッション・メイクアップゲイン)を0dB~+15dBの範囲でコントロールします。

一般的に望ましいコンプレッションの量がスレッショルドとレシオによって調節したあとにメイクアップの調整を行ってください。メイクアップはコンプレッションの量に影響を与えません。

*ヒント: SSL Bus Compressorでは、テキストラベル“0”をクリックするとメイクアップを1に設定します。*

## アタック

アタックはコンプレッションが行われる前に、入力された信号がスレッショルドで設定したレベルに達してからコンプレッションが行われるまでの時間を設定します。アタックの値が速いほどコンプレッションが行われるタイミングが早くなります。選択可能なアタックタイムは、0.1msec、0.3msec、1msec、3msec、10msec、30msecです。

## リリース

リリースは入力された信号がスレッショルドレベルを下回った場合、コンプレッション効果が終了するまでの時間の長さを設定します。長いリリースタイムを設定する場合には滑らかな効果を得られ、それは頻繁にピークを越える音源に対して効果的です。しかしリリース時間が長すぎた場合、音量の大きい部分によって起こるゲインリダクションがそれ以降の部分にも影響し、小さい音量のレベルをさらに下げてしまうかもしれません。

設定可能なリリースタイムは100msec、300msec、600msec、1.2secとオートです。SSL G Bus Compressorのオートリリースの特徴は入力されるプログラムのキャラクターに応じてリリースタイムを最適化させる独特のクオリティを持っています。

## レシオ

レシオはコンプレッサーで処理する圧縮量を設定します。例えば、20dBで入力された信号を10dBにまで下げるにはツマミを2の位置にすると入力値は半分になります。(圧縮比率は2:1)設定可能なレシオ値は2:1、4:1と10:1です。

*注: レシオコントロールは、コンプレッションスレッショルドと相互作用し、その結果、知覚ラウドネスが維持されます。レシオが減少するにつて、有効なスレッショルドが低下します。*

## パワー(IN)

パワーボタンはプラグインが動作中かどうかを決定します。プロセッサーを無効にするにはパワーボタンをクリックしてください。パワーはエフェクトによって処理された音と、元の音を比較する場合に役立ちます。

## ゲインリダクション・メーター

VUスタイルのゲインリダクション・メーターはコンプレッサーで発生しているゲインリダクション量を表示します。より高い値は多くのゲインリダクションを示します。

プラグインの信号レベルを上げたり、またはゲインリダクションを増やすにはスレッショルドの値を下げてください。ヘッドルームコントロールは、ゲインリダクション量にも影響します。

## サイドチェインフィルター

SSLの愛好者の中には、“もしボトムエンドがG Bus Compressorで過剰にパンプするのであれば、それはボトムが強すぎる”と言われます。それは、ミックスやサブグループが等しく作られていないので、SSL G Bus Compressorのサイドチェインに連続可変12dB/オクターブのハイパスフィルターを追加しました。サイドチェインフィルターは、コントロールサイドチェインからの低周波数成分の除去を可能にし、オーディオ信号自体の低音の内容をリダクションすることなく重低音のオーディオ信号に対する過度のゲインをリダクション、またはポンピングを低減します。

*注: サイドチェインフィルターはサイドチェインシグナルにのみ作用します。ダイナミクスの挙動については、可聴的な変化を生み出すことはできますが、プラグインから出力される信号には直接作用しません。*

SCフィルターコントロールの最低値の設定では、フィルターは無効になり、コンプレッサーの動作には影響しません。SC フィルターノブを時計回りに回すと、フィルターが接続され、その周波数が20~500 Hzの間でスイープされ低域レベルとゲインリダクションの幅広いコントロールが可能になります。

*ヒント: テキストラベル“OFF”をクリックするとサイドチェインフィルターをオフにしてください。フィルターを前の設定に戻すには、もう一度“OFF”をクリックしてください。*

*注: サイドチェインフィルターは、SSL G Bus Compressor Legacy、または4K Bus Compressorでは使用できません。*

## ヘッドルーム

オリジナルのハードウェアにはないUAD専用の機能であるヘッドルームコントロールは、SSL G Bus Compressorの内部動作リファレンスレベルの調整を可能にします。ヘッドルームは、ベストな環境の動作レベルのマッチングを可能にするか、またはクリエイティブに使用してプロセッサの音域を広げることが可能になります。ヘッドルームを微調整することにより、信号のインプットレベルとは関係なくノンリニアI/Oディストーションとコンプレッションレスポンス・キャラクターを調整することができます。ヘッドルームを増やす(コントロールを反時計回りに回す)と、インプット側の信号をコンプレッションする前に押し上げて増やすことができます。

ヘッドルームは、シンプルに内部動作レベルを変更することで、プラグインがゲインリダクションもプッシュされ過ぎないように調整します。ヘッドルームは、4、8、12、16、20、24、28(dB)に設定することが可能です。デフォルト値は16 dB(調整ネジが12時の位置)です。dB値が減少するにつれてヘッドルームが増加することに注意してください。

**ヒント:** テキストラベル“HR-dB”をクリックすると、コントロールをデフォルト値に戻すことができます。

高いdB値(時計回り)では、信号はプラグインをゲインリダクション(さらにノンリニアや“良好な”ハーモニックディストーション)を簡単に与えます。ゲインリダクションが低く、カラーが少なくしたい場合、コントロールを低い値(反時計回り)に設定してください。

**注:** ヘッドルームを調整する際、一時的なゲインの増加を防ぐためにこのコントロールをオートにすることはお勧めしません。

ハード&ファースト・ヘッドルームにはルールが無いことを覚えておいてください。オーディオソースに関係なく、ヘッドルームコントロールの様々な位置を自由に試してください。耳で感じて良いと判断した場合はそれを使用してください！

**注:** ヘッドルームはSSL G Bus Compressor Legacy、または4K Bus Compressorでは使用できません。

## ミックス

プラグインで処理した信号とオリジナルのドライソース信号の出力バランスは、ミックスコントロールで調整することができます。ミックスは、DAWでさらにルーティングを増やすことなくパラレルコンプレッションを可能にします。

0に設定すると未処理のソース信号のみが出力されます。100(デフォルト)に設定すると、処理された信号のみが出力されます。中央の位置(50%)に設定するとドライ、ウェット信号の両方が均等にブレンドされて出力されます(パラレルコンプレッション)。バランスはコントロールレンジ全体にわたって連続的に変化します。

**ヒント:** コントロールを50%の位置に素早くセットするには、テキストラベル“50”をクリックしてください。最小位置に設定するには“0”をクリックしてください。最大値に設定するには、“100”をクリックしてください。

**注:** ミックスは、SSL G Bus Compressor Legacy、4K Bus Compressorでは使用できません。

## オートフェード

コンソールやお気に入りのSSLアウトボードに見られるようにオートフェード機能は、曲の終わりにボリュームを徐々に減少させることができる便利な機能です。フェードのスピードは、1~60秒に調整でき、SSL独自のフェードカーブが組み込まれています。

SSL G Bus CompressorとLegacyプラグインは、アクティブにすると指定した時間内に自動的にプラグイン出力を最小限に抑えるオートフェード機能を提供します。この機能は、非常に滑らかなフェードアウト(また、フェードイン)が可能になります。また、自動でフェードさせることも可能です。

オートフェード機能は、コンプレッサーの出力で信号を処理します。出力されるフェード信号のレベルは、指数カーブを持っています。

*注: オートフェードは、4K Bus Compressorでは使用できません。*

### レート

レートコントロールは、オートフェード・ボタンがオンになってからプラグインの出力レベルが最小になるまで(またはフェードインの場合は0dBになるまで)の時間を決定します。使用可能な範囲は1~60秒です。

フェードタイムは、設定したレート値をすぐに反映します。したがって、フェードアウト中にレートを変更することで、すでに始まっているフェードを加速させることが可能です。逆にフェードイン時にもレートを変更してフェードインを加速させることが可能です。

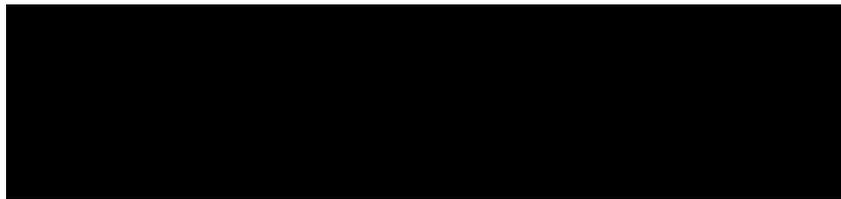
### オートフェード・ボタン

オートフェード・ボタンをオンにすると、フェードアウトが開始されます。フェードアウト・タイムは、レートパラメーターで決定されます。オートフェード・ボタンは、フェードアウトが進行中の時には点滅し、フェードアウトが完了した(レートタイムが過ぎた)場合、点灯します。

フェードをオフにすると、フェードインが開始されます。フェードインの間、信号レベルは、現在のアッテネーションレベルから0dBに増加していきます。オートフェード・ボタンは、フェードインが進行中の時には点滅し、フェードインが完了した(レートタイムが過ぎた)場合、点灯しなくなります。

オートフェード・ボタンを切り替えると有効なフェードが出力レベルのジャンプすることなく逆方向になります。例えば、アクティブなフェードが中断してもレートは一定なままです。例えば、レートが30秒の設定でフェードアウトを開始した場合、20秒後にオートフェードを再びクリックすると、フェードインするのに20秒かかることになります。

*ヒント: シフト+フェードボタンをクリックするとレベルがすぐに0 dBに戻ります。この機能はオートメーションできません。*



SSL 4000 Eシリーズ、SSL G Bus Compressor、およびSSLの商標、すべての視覚的、聴覚的な参照は  
Solid State Logicから書面による許諾を得て行われています。  
Jim Motley、Chris Jenkinsに感謝の意を表します。